溶接技能者評価試験日程　5月分

【北海道地区溶接技術検定委員会】
（℡011－822－6678）
札幌溶接協会（℡011－832－8280）道検定場　９日、15日、31日
函館溶接協会（℡0138－45－0717）
室蘭溶接協会（℡0143－27－1500）日本製鉄北日本製鉄所室蘭地区　９日
帯広溶接協会（℡0155－67－7381）河合鉄工　10日
旭川溶接協会（℡0166－36－4153）
北見溶接協会（℡0157－66－2141）
釧路溶接協会（℡0154－22－7136）釧路工業技術センター　８日、９日
苫小牧溶接協会（℡0144－57－7587）

【東北地区溶接技術検定委員会】
（℡022－378－8290）
青森県溶接協会（℡017－736－9055）八戸工科学院　23日、24日
岩手県溶接協会（℡019－652－3921）ポリテクセンター岩手　30日
宮城県溶接協会（℡022－263－3468）東北職業能力開発大学校　24日／ポリテクセンター宮城　31日
秋田県溶接協会（℡018－862－5410）ポリテクセンター秋田　23日
山形県溶接協会（℡023－644－0857）ポリテクセンター山形　９日
福島県溶接協会（℡024－523－1622）矢田工業　10日／ポリテクセンターいわき　23日、24日

【東部地区溶接技術検定委員会】
（℡044－299－3541）溶接技術中央検定場　１日
茨城県溶接協会（℡029－212－4650）鹿島産業技術専門学院　８日／日立製作所日立工業専修学校　18日／県職業人材育成センター　29日
栃木県溶接協会（℡028－656－9210）ポリテクセンター栃木　９日／関東職業能力開発大学校　16日
群馬県溶接協会（℡027－230－1020）群馬産業技術センター　７日
埼玉県溶接協会（℡049－236－9151）県鉄構会館　10日、17日、24日
千葉県溶接協会（℡043－246－5712）古橋鉄工所　16日／ポリテクセンター千葉　24日／ポリテクセンター君津　31日
東京都溶接協会（℡03－3685－5448）都溶接協会　９日、10日、30日、31日／城東職業能力開発センター　23日
首都圏溶接協会東京（℡03－3733－4971）石井鐵工所羽田事業所　10日
神奈川県溶接協会（℡044－233－8367）溶接技術中央検定場　８日、10日、21日、24日／日本溶接技術センター　15日
新潟県溶接協会（℡025－272－7311）上越テクノスクール　10日／新潟テクノスクール　24日
山梨県鉄構溶接協会（℡055－241－2674）ポリテクセンター山梨　９日
長野県溶接協会（℡026－228－3195）上田地域高等職業訓練センター　14日、15日

【北陸地区溶接技術検定委員会】
（℡076－257－4841）
富山県溶接協会（℡0766－25－7912）ポリテクセンター富山　16日
石川県溶接協会（℡0761－46－5020）小松産業技術専門校　10日
福井県溶接協会（℡0776－53－5261）福井産業技術専門学院　16日／賀産業技術専門学院　30日

【中部地区溶接技術検定委員会】
（℡052－613－2081）
岐阜県溶接協会（℡0583－83－9382）ポリテクセンター岐阜　10日
静岡県溶接工業協同組合（℡054－347－3070）工科短期大学校沼津キャンパス　10日、17日
愛知県溶接協会（℡052－651－6084）地区検定試験場　７日、８日、10日、11日
三重県溶接協会（℡059－235－3185）津高等技術学校　17日

【関西地区溶接技術検定委員会】
（℡06－6341－1805）パナソニックコネクト　11日／ダイヘン　19日
滋賀県溶接協会（℡077－534－1140）ポリテクセンター滋賀　23日
京都府溶接協会（℡075－322－8401）ポリテクセンター京都　16日
大阪府溶接技術協会（℡06－6649－1405）ポリテクセンター兵庫　10日、17日、31日
兵庫県溶接協会（℡078－341－2195）ポリテクセンター加古川　９日、23日
奈良県溶接協会（℡0742－33－6222）県産業振興総合センター　８日
和歌山県溶接協会（℡073－477－4964）ポリテクセンター和歌山　16日

【中国地区溶接技術検定委員会】
（℡082－848－0511）地区溶接技術検定委員会　16日、28日
鳥取県溶接協会（℡0859－32－7112）ポリテクセンター米子　16日
島根県溶接協会（℡0852－24－2157）西部高等技術校　16日
岡山県溶接協会（℡086－250－6530）南部高等技術専門校　16日／ＪＦＥ倉敷地区共同職業訓練協会　30日
広島県溶接協会（℡0823－21－3331）ＪＦＥプラントエンジ福山事業所　23日
山口県溶接協会（℡0833－43－3450）ポリテクセンター山口　17日／日本フアブテック　23日／ＵＢＥマシナリー　30日

【四国地区溶接技術検定委員会】
（℡0897－47－5627）
徳島県溶接協会（℡088－669－4637）
香川県溶接協会（℡087－813－2888）ポリテクセンター香川　23日
愛媛県溶接協会（℡0897－66－8235）ポリテクセンター愛媛　24日
高知県溶接協会（℡088－855－3512）

【九州地区溶接技術検定委員会】
（℡093－881－5610）
福岡県溶接協会（℡093－602－7751）九州検定試験場　10日、16日、24日／大牟田高等技術専門校　16日／西日本プラント工業　17日／ポリテクセンター飯塚　24日
佐賀県溶接協会（℡0952－31－3554）
長崎県溶接協会（℡0957－52－1146）
熊本県溶接協会（℡096－369－5519）
大分県溶接協会（℡097－596－7010）
宮崎県溶接協会（℡0985－74－0990）
鹿児島県溶接協会（℡099－251－5518）
沖縄県溶接協会（℡098－934－9565）

（３月31日現在）

Crown ©YUTAKA.
e-regulator
for industrial pressure controls
株式会社 ユタカ
http://www.yutaka-crown.com
圧力調整器・流量計・ガス供給装置

日溶協ニュース

一般社団法人日本溶接協会
〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町4-20
溶接会館
電話：03-5823-6322

全国溶接競技会　優勝者インタビュー

高田工業所
井上裕貴さん

高田工業所の井上裕貴さんが２０２５年度全国溶接競技会・被覆アーク溶接の部で優勝した。23歳で初めて福岡県溶接競技会に挑戦し、優勝。全国競技会へ進むと優良賞を獲得した。その後も競技会で上位入賞を続け、30歳で念願の日本一に輝いた。高田工業所としては22年度に小林和樹さんが全国優勝したのに続く快挙だ。

若さの中にも円熟味を覗かせる井上さん。競技会の常連としていかに臨んできたか聞いた。

◇　◇

井上さんの溶接人生を決めたのは高校時代の出会いだった。出身校の小倉工業高校では１年間かけてグループで作品を作る課題があり、ここで溶接の楽しさを知った井上さん。技術指導で訪れていた地元企業のベテラン溶接士に話すと「溶接の仕事をするなら高田工業所が良いのでは」と勧められ、ライバルではなく『やっぱり先輩だな』と思いました。なかなか追いつけません」と話すが、競技会の成績は上位を競り合ってきた。

◇　◇

入社3年目、井上さんは高田工業所が例年開催する技能オリンピックに被覆アーク溶接の部で出場した。この大会で優勝すれば福岡県溶接競技会に出場できるというのが通例だったが、結果は3位。

「邪魔板に手が…」苦しみ勝ち取った日本一

最優秀賞は「ゴールでありスタート」

翌年に再挑戦するも2位だった。結果的に優勝はできなかったが、技能オリンピックは後輩に譲り、福岡県の溶接競技会に挑戦。小林さんを始めとする先輩に「競技のいろは」を手取り足取り教えてもらい挑んだ。

初めて挑戦する社外競技会は「プレッシャーがなく逆に緊張しませんでした」と振り返る。練習の出来の良さで順位を落とし22年6位（優秀賞）、23年13位（優良賞）にとどまったこと。そして24年こそ井上さんは見事に接棒継ぎの方法など、基本的なやり方は4年前に確立していたので、ほぼ選手にも顔なじみが増え、ほどよい緊張感で競技に望めた。ブースに座るまでは脳内でただけに悔いが残った。全国優勝の知らせを聞いた井上さんは「最初は何の話か分からなかった」と戸惑ったという。本番特有のイレギュラーに苦しめられながら勝ち取った日本一だった。

高田工業所研修センターで先輩の小林さん（左）と

◇　◇

大切にしていることは溶接前の段取りだと言う。「色々なパターンを想定して段取りすることでトラブル時にこれを踏襲しつつ多少条件が変化しても同じビードが得られるよう溶接の再現性を突き詰めた。「体の動きを練習で染み込ませていて、競技では勝手に体が動くようにしています。頭で考えて体を動かすと、練習と動きが変わってしまうので。そうした上で、わざと道具を乱雑にしてみるなどトラブル対応の練習もしました」

◇　◇

雨模様となった10月5日、富山県高岡市のポリテクセンターに全国から114人の精鋭が集まる。全国競技会2週間ほど前から本格的な練習に入った。溶接のシミュレーションを繰り返し、「お腹が空いた」と感じるほどの余裕もあった。

ところが本番にトラブルは付き物だ。中板の溶接は初層で想定よりも開先が残ったため、中間層はビード幅を広げることにした。そのため中間層の高さが不足し、普段はストレートで溶接する最終層はウィービングすることになった。結果的に「あまり綺麗な外観にできなかった」と言う。続く薄板も想定外の事態があった。競技では溶接棒の動きを制限する邪魔板を板材に取り付ける必要があるが、最終層の溶接中に邪魔板に手が当たり、運棒が止まってしまったのだ。普段は棒継ぎ箇所で溶融金属を流してからアークを中断していたが、これが不十分になった。リカバリーのためにひたすらビードを磨いたが、初層と中間層が上手く行ったと言う。「今後は『日本一』や『マイスター』という肩書がついて回るので、これに恥じない仕事をしないといけません。若ければ若いほど、これに苦しめられる時間も長いと思います。日本一は1つのゴールであり、スタートでもありますね」

溶接歴13年になる井上さん自身も、上司や先輩方にまだまだ助けられているという。最近では出張先でパイプの溶接をする機会があったが、経験したことのないほど強く磁化していて上手く溶接できず、上司の﨑下恵介係長に電話で相談したところ、キャプタイヤケーブルを配管に巻き付けて脱磁する方法を教えてもらった。「﨑下さんをはじめ、上司の知識量はものすごい。本当に尊敬していますし、大きい工事ですと片付けて次の現場に向かう流れも大事です。『段取り8割』と言いますが、本当に大事なことだと考えています」。

井上さんにとって溶接は、社会人生活に楽しみをもたらした存在だ。「早く溶接がしたくて月曜日が待ち遠しかったくらいです。打ち込める仕事に出会えて『社会人って楽しい』と思わせてくれるものでした」。その魅力を「関わったものが形として残ることにやりがいを感じます。使われる材質が様々で、状況によって試行錯誤して上手く行ったときの達成感もあります」と表現する。

競技会については「参加を通して多くのことを得られました。例えばX線透過試験で『欠陥が出る・出ない』というパターンをいくつも試せましたう。「今後は『日本一』や『マイスター』ということを深く理解できました」と意義を実感する。

◇　◇

井上さんにとって奮起の種は、全国競技会の都合で参加できなかったことだ。25年から競技課題が変わると認識していた井上さんは、24年の競技会が練習の集大成になると考えていた。「他社のレベルがかなり上がってきました。なので欠場は相当悔しかった」。ところが25年は課題が変わらないと知り「もう一度チャンスがある」と競技会への気持ちを強くした。

全国競技会は本番の2週間ほど前から本格的な練習に入った。溶接の全国競技会には家庭の都合で参加できなかったことだ。25年から競技課題が変わると認識していた井上さんは、24年の競技会が練習の集大成になると考えていた。「他社のレベルがかなり上がってきました。なので欠場は相当悔しかった」。ところが25年は課題が変わらないと知り「もう一度チャンスがある」と競技会への気持ちを強くした。

全国競技会は本番の2週間ほど前から本格的な練習に入った。溶接の全国競技会には家庭の都合で参加できなかったことだ。25年から競技課題が変わると認識していた井上さんは、24年の競技会が練習の集大成になると考えていた。「他社のレベルがかなり上がってきました。なので欠場は相当悔しかった」。ところが25年は課題が変わらないと知り「もう一度チャンスがある」と競技会への気持ちを強くした。

全国競技会は本番の2週間ほど前から本格的な練習に入った。

ガス事故災害をゼロにする・・・・・アポロシリーズ
逆流・逆火事故を吹管手元でシャットアウト
アポロ・ミニタックルは、切断又は溶接吹管とホースの着脱に定評のアポロコックに、超小型で高性能な逆流逆火防止機構を内蔵させた継手です。
ガス溶接・溶断用逆流逆火防止器
逆火防止装置内蔵型継手：特許 No.2681456 号
アポロ・ミニタックル
ZOP-2AE 燃料ガス 1000nL/h 用
ZOP-1AE 酸素 10000nL/h 用
ZOP-2AEL 燃料ガス 1500nL/h 用
ZOP-1AEL 酸素 15000nL/h 用
UL規格取得品 No.MH-17441
小池酸素工業株式会社
ホームページ：https://www.koike-japan.com
溶材商品部：〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台1-9-3 TEL.043-226-5514
アポロ機器事業部 〒104-0041 東京都中央区新富1-13-22 TEL:03-3551-7502 FAX:03-3551-7503

日本溶接協会 公式SNSで情報発信中！
X
インスタグラム